学校番号	２１２

平成３１年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校美術２（日本文教出版）　Ⅱ						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ 配置や視点の位置の変化で表現効果が大きく変る事を理解させる。
・ 観察することを大切にし、色彩表現やもののボリューム感を、意識させる。
・ 表現とは何かを考えさせ、感想、意見を述べる力を身につける。

２ 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。制作した作品を考察している。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイディアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	静物の素描画	【絵画】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式を学ぶ。 ・クロッキー 短時間で形の特徴を捉え、線の強弱で描く。	○ ○	 ○	 ○	 ○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	静物モチーフ組み	【絵画】 ・作品の構図、フレーミングの工夫の理解 ・自分の描きたいものを選び、色彩、配置を工夫してモチーフを組む。 ・モチーフのデッサン ・デッサンの相互鑑賞(班)	○ ○	 ○ 	 ○	 ○	a:モチーフの形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。質感、空間表現。マチエールを認識出来ているか。 c:鉛筆の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d: 意見、感想を発表もしくは記述できるか	制作の様子 制作途中の作品 作品

	静物画を描こう	【絵画】 ・制作 アクリルガッシュや油絵具、その他必要な素材等を用いて描く。 配置の前後関係、空間を配慮しながら下絵を描く。 物がもつ色彩を感じ取り着彩する。 光の方向を意識し細部のデティールを描く。 ・相互鑑賞 お互いの作品を鑑賞し意見、感想を発表する。	○ ○	 ○	○	○ ○	a:モチーフを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:モチーフを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成、質感、空間表現などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
2学期	美術鑑賞(西洋)	【鑑賞】 ・壁画、テンペラ画、油彩画などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	○ ○ ○			○ ○ ○	a:西洋の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。 d:西洋の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容

	コースターを作ろう	【デザイン】 ・ゼンタングルプリント 参考作品の鑑賞。 技法の紹介。 ・イメージ画を画用紙に下書きをする。 ・制作 ゼンタングルを使い無彩色で制作する。 資料と構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 主題を追及し、表現を深める。 ・相互鑑賞 お互いの作品を鑑賞し意見、感想を発表する。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:画材の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている	ワークシート アイディアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
	イノベーションボードを作ろう	【デザイン】 【鑑賞】 ・コラージュプリント 参考作品の鑑賞。 技法の紹介。 ・アイディアスケッチを作成する。 ・制作 様々な画材を使いながら制作する。 資料と構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 主題を追及し、表現を深める。 ・相互鑑賞 プレゼンテーション	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:自己を表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b: :アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、素材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを、下描きやワークシートを通し、自分の発想や構想をまとめている。作品をより良くする為の工夫をしている。 c:目的や意図に応じて材料や素材の特性を活かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている	ワークシート アイディアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

3学期	粘土で身近なものを作ろう	【塑像・彫刻】【鑑賞】 ・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・主題を基に構想を練る。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ 	○	a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート アイディアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。